

連載を始めるにあたって

CNS 研究会代表 井部俊子

このたび、「専門看護師 (CNS) のコンピテンシーとは何か」をテーマに連載を始めることになりました。この研究会の前身である「専門看護師の臨床推論研究会」では、2015 年 6 月に『専門看護師の思考と実践』(医学書院)を著し、CNS をめざす大学院生から“バイブルとして読んでいます”といわれるほど、活用していただき喜んでいます。

次にわれわれが企てていることは、CNS のコンピテンシーに迫ることです。研究会のメンバー編成を若干変更して、2016 年 10 月から月 1 回の定例で研究会を始めました。ねらいは、前掲書で課題として残った CNS のコンピテンシーを、現象学的方法を用いて追究しようというものです。そのため研究会には、新進気鋭の現象学者である村上靖彦氏(大阪大学)をメンバーとして迎えました。

CNS 研究会は、以下のように進められます。

まず、各領域の CNS から順番に事例報告をしてもらいます(事例報告者のアサインメントは来年の 3 月まで決めています)。他の参加 CNS との討議をとおして事例の意味を深め、翌月の定例会に修正版を発表します。これが基本的に本連載の前半部分になります。翌月までの 1 か月の間に事例報告者は 1 対 1 で村上靖彦氏のインタビューを受けます。ここで、“The CNS”としての極意が語られます。この語りが現象学的手法によって洗練され、CNS のコンピテンシーとして結実します。研究会では当事者から歓声があがるほど、「リアルな現象」として報告されました。これが後半部分となります。

CNS が報告する「動画」的推論は、卓越した臨床家の実践を可視化して伝え、その CNS が身につけ発揮しているワザや能力(これをコンピテンシーといいたいのですが)を記述する本連載は、内容的にも方法論としても極めて独創的であり興味深いものになるであろうことを、私はすでに実感しています。

どうぞ、楽しみに。